

消費動向調査（平成 30 年 7 月実施分）
調査結果の要点

平成 30 年 7 月の消費者態度指数(二人以上の世帯、季節調整値)は、6 月の 43.7 から 0.2 ポイント低下して 43.5 となり、2 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「収入の増え方」が前月から上昇、それ以外の 3 項目「耐久消費財の買い時判断」、「暮らし向き」及び「雇用環境」が前月から低下した。

消費者態度指数の動きから見た 7 月の消費者マインドの基調判断は、**弱含んでいる**。(据置き、前月からの表現の変更なし。)

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 30 年	5 月調査	43.8	(0.2)
	6 月調査	43.7	(0.1)
	7 月調査	43.5	(0.2)

過去平均(昭和 57 年 6 月～平成 30 年 7 月)は 42.3。

平成 30 年 7 月の 1 年後の物価に関する見通し(二人以上の世帯)は、「上昇する」が 3 か月連続で前月から減少、「低下する」が 3 か月連続で前月から増加、「変わらない」が 3 か月ぶりに前月から減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。
(据置き、前月から表現の変更なし。)

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：%）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	5 月調査	3.2	12.4	82.1	2.4
	6 月調査	3.3	12.6	81.7	2.4
	7 月調査	3.5	12.5	81.5	2.5

「上昇する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 30 年 7 月)は 66.6%。

「低下する」と見込む割合の過去平均(同)は 6.8%。